

山上茂明家文書目録と目録作成について

- 1 本文書は須坂市塩野町の山上茂明氏から寄託された資料で、米子鉱業所に勤務していた茂明氏の亡父、山上邦茂氏が生前収集・整理・保存していた米子鉱山関係資料である。
- 2 米子鉱山は寛永期に開業して以来、「鷹ノ目硫黄」と称される良質な硫黄を採掘してきた。明治以降も操業は継続され、昭和 9 年からは中外鉱業株式会社米子鉱業所として採掘を続けた。最盛期には診療所・学校・映画館まで備えた一大産業であった。硫黄鉱山は昭和 35 年に閉山したものの、褐鉄鉱・蠟石・ダイアスポアなどの採掘は続いていたが、これも昭和 48 年には全面閉山となり、鉱山の歴史に幕を下ろした。
- 3 本文書の所蔵者であった山上邦茂氏は、昭和 11 年に中外鉱業株式会社米子鉱業所に入社。用度課・資材課に勤務し、保安委員・索道建設委員をつとめ、昭和 41 年に退社した。その 30 年間の勤務期間中に米子鉱山関係資料の収集・保存につとめてきた。
- 4 本文書は、昭和初年代～40 年代までの資料である。
鉱山鉱区図・機械設計図・索道関係などの図面類と鉱業所従業員・作業員の写真、米子鉱業所の絵葉書類が豊富に揃っていることが特徴である。
また、米子鉱山全面閉山後に組織された「米子山カンテラ会」関係資料は、鉱山の歴史を記録し、山で働く人々の姿をとどめる具体的な資料となっている。なかでも、昭和 7 年の「吾妻鉱山自渡連合坑夫出世免状」は貴重な資料である。史料点数は 655 点を数える。
- 5 これら現存する資料を「山上茂明家文書目録」として目録を作成した。
『須坂市域の史料目録』の連番整理番号「086」（86 番目）に位置づけ、「086－A－1－1」～「086－D－8－②」まで整理ラベルを貼付した。

記号	分類項目	史料番号	史料点数
A	帳簿類・鉱山誌・地図	90	350
B	索道・カンテラ会・写真	116	224
C	書籍・冊子	43	52
D	絵図・その他	8	29
合 計			655

- 6 目録作成に当たっては、すでに山上茂明家で整理・分類してあった「袋」や括りを尊重しつつ、それをできる限り時系列に配列することを原則とした。
- 7 史料目録の作成に当たっては史料活用の便を考慮して、次のようにした。
- (1) 史料名は、原則として資料中に記載された表題を記載し、() 内に内容説明を記載した。
また無表題の資料は、その内容だけを()内に記載した。
一例として、
運輸日報表 26.11～ 26.10(硫黄輸送の記録)
(米子硫黄鉱山 会社・棟割り住宅棟付近見取り図)
- (2) 小片のメモは紛失の恐れがあるため、封筒入りにし保管した。
- (3) 資料の形態については、以下のように略記した。
紙(一紙)、冊(書籍・冊子類)、封(封筒)、袋(大型封筒を含む)、綴(ジョイントを含む)
- 7 本史料目録は、須坂市文書館専門員 田子修一が作成した。

2020 年 6 月 15 日

須坂市文書館